

授業改善推進プラン〈数学〉

西東京市立ひばりが丘中学校

1 指導目標

・数量、図形などに関する基礎的な概念や原理
 ・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それを進んで活用する態度を育てる。

2 平成26年度 1学期における考察と課題

学 年	考察	課題
1学年	基本的な計算力が身につけていない生徒が見られる。	基本的な計算力の向上を目指した取り組みをしていく。
2学年	都学力調査では、4観点の達成率は都と同じか上回っているが、取り出す力・読み取る力・解決する力(空間図形・資料の整理)の達成率が都より低くなっている。	問題を読み取って課題を取り出し解決していく力を向上させるために、基礎計算力をベースに空間図形や資料の整理の問題を解く力の向上を図る。
3学年	数学A…1次関数、反比例などの関係を見出すことが苦手である。 数学B…数学的に物事をとらえ説明することが身につけていない。 関数の式を求めたり、グラフとの関係を考えたりすることを苦手に行っている生徒が見られる	関数の関係を見だし、式にしたりグラフとの関係を考えたりする力を付ける。
全学年	関数関係を見だし、式にしたりグラフとの関係を考えたりすることや図形の基本的な規則や性質を用いて論理的に考察することを苦手に行っている生徒が見られる。	関数の関係を式にしたり、グラフとの関係を考える力の向上を図る。また、図形の基本的な規則や性質を用いて論理的に考察する力の向上を図る。

3 平成26年度 2学期以降への改善のポイント

学 年	改善のポイント
1学年	授業や学年で計算力の向上を図るために、繰り返し演習をしていく。同時に家庭学習の習慣の定着を図るような取り組みをする。
2学年	問題を読み取る力を身に付けさせるために、問題を解いていく過程が理解できるように考える過程をきちんと書き残して見直させるようにしていく。また、個々の間違えたところをきちんと把握させるようにする。課題を解決できない生徒へは、基本問題を繰り返し行わせるなどの支援を行う。
3学年	物事を数学的にとらえ、それを数式化し説明していく力が身に着くように、説明問題(文章問題)に時間をかけて取り組ませていく。
全学年	模型などを用い、視覚的に図形をとらえ、考察する力をつける学習を展開していく。日常の問題と関連した問題を解かせて総合的な力の向上を図る。理解をしやすいように、板書の仕方を工夫したり、プリントを工夫するようにする。また、小テストや補充教室などで、個に対応した学習を展開して個々のレベルアップを図る。

4 評価の工夫

観点	観点の項目	評価内容
数学への関心・意欲・態度	・数学の授業に関心を持ち、積極的に授業に参加しようとする。 ・生活に関する様々な現象を、数学的に捉え論理的に解決しようとする。	ノート 問題集 提出物 小テスト (授業態度)
数学的な見方や考え方	・数学的に見通しを持って、論理的に考察できる ・授業等を通して、数学的な見方や考え方を身につける。 ・授業で得た知識を日常生活に活かすことができる。	定期考査 問題集 ノート 小テスト
数学的な技能	・四則計算、数量関係や法則を適切な方法で処理できる。 ・数学的に推論の筋道を表現することができる。	定期考査 問題集 ノート 小テスト
数量・図形などについての知識・理解	・学習した内容を理解し、必要に応じて使うことができる ・基本的な事項についての定義や性質を理解している。	定期考査 小テスト (ノート)